

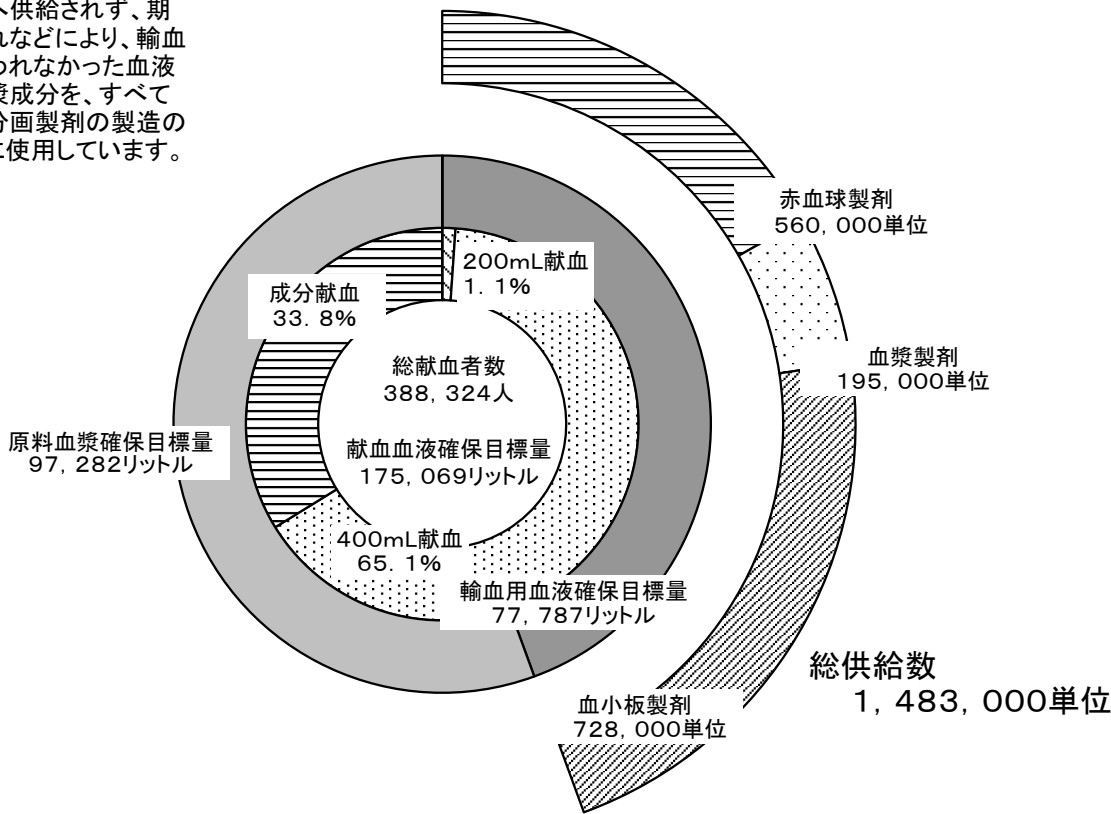
令和7年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で124万リットル(令和7年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、98.4%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

令和7年度献血目標							
		献血者数 (人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)		
					血液センター	献血ルーム	移動採血車 (オープン献血含む)
全血献血	200mL	4,212	1.1%	842	101	1,752	2,359
	400mL	252,824	65.1%	101,130	9,114	137,184	106,526
成分献血	血 漿	84,805	33.8%	48,386	4,732	80,073	0
	血小板	46,483		24,710	5,869	40,614	0
合 計		388,324		175,069	19,816	259,623	108,885